自分の思いや考えを出し、相手の思いや考えに気付いたり 受け入れたりして共に遊ぶ幼児の育成

~共通する体験や活動を基にした遊びを通して~

特別研修員 幼児教育 久保田あゆみ (幼稚園教諭)

〈幼児の実態〉

- 思いを言葉にすることが苦手
- 相手の思いや考えに耳を傾けられない ・人で遊ぶことに満足している

〈教師の願い〉

- 自分の思いや考えを伝えられるようになってほしい。
- ・相手の思いや考えに気付いたり受け入れたりしてほしい
- 友達と関わって遊ぶことの楽しさを感じてほしい



実践 遊園地遊び (5歳児 10月) ~ 遠足という共通する体験を基にした遊びの設定~



共通する体験や活動を基にした遊びの 場の工夫

- 試行錯誤するための、十分な材料を用意す
- 考えを出してじっくりと遊ぶための時間や 場を確保する

手立て2

一人一人の思いや考えをつなげる教師の 関わり

- ・共感的に受け止め、他の幼児に知らせるこ とで認められる場面をつくる
- 友達の思いや考えへの気付きを促す援助を 行う

手立て1 (エットコースターを作る場面

- 段ボールやガムテープなどを十分に用意
- テラスや芝生にテントやシートを設置

手立て2

認められる場面をつくる教師の関わり

〔この椅子C君たちが作ったのよ



あの段ボール で作ろうよ



C君たち すごい



僕がスタートの合図をするよ

友達と関わる楽しさ を感じ、思いを出す 姿につながった。

手立て2

気付きを促す援助

どうしたら良いか みんなに聞いてみようか



続きどうする?

を確保

手立て1

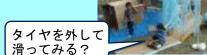


給食後も遊びの続きができるように時間

急流滑り 作ろうよ

遊びを発展させて遊ぶ姿が見られた。

タイヤが外れた どうしよう



相手の考えを 受け入れる姿 につながった。

成果

急流滑りを作る場面

- ・共通の体験を基に遊び、認められたことから友達と関わる楽しさを感じ、思いを出す姿が見られた。
- 困難を感じた場面では、困ったことを伝え、どうしたら良いか考えたり、相手の考えを受け入れた りしながら解決しようとする姿が見られるようになった。

・幼児が困難を感じている場面で、教師がすぐに声を掛けたり解決策を提案したりするのではなく、 声を掛けるタイミングを図り、見極めていくことが課題である。